

地圏資源環境研究部門の最新研究 ～新たなチャレンジと展望～

2022
12.7 水

会場・参加
**ステーションコンファレンス
万世橋 4階**

東京都千代田区神田須田町1-25 JR 神田万世橋ビル 3F・4F
◆ JR 秋葉原駅 電気街口徒歩4分 ◆ 千代田線新御茶ノ水駅 A3 出口徒歩3分

開催時間：13:30～17:20 (13:00～受付開始)
参加費：無料、定員150名 / 事後に一部動画配信あり (要事前登録)
参加申込み締め切り：令和4年12月2日(金)まで

昨今の国際情勢の急速な変化や不安定化に伴い、エネルギー・資源等の安定供給や環境制約への対応は、これまで以上に喫緊の課題になっています。本報告会ではこれらの社会課題の解決に関連する当部門の最新の研究活動を中心に、3年ぶりとなる対面開催での口頭発表とポスターセッションによって広く深く皆様にお伝えします。

[共催] 産業技術連携推進会議 環境・エネルギー部会 地圏環境分科会、知的基盤部会 地質地盤情報分科会

プログラム

13:30～13:35	開会のあいさつ
13:35～14:00	地圏資源環境研究部門の概要 - 社会との接点を目指して - 研究部門長 今泉 博之
14:00～14:25	微生物を培養して社会実装につなげる - 深海底堆積物と休廃止鉱山での取り組み - 地圏微生物研究グループ 片山 泰樹
14:25～14:50	メタンハイドレート形成に関与した流体の起源推定：炭酸塩岩のリチウムに着目して 地圏微生物研究グループ 宮嶋 佑典、鉱物資源研究グループ 荒岡 大輔
14:50～16:00	ポスターセッション
16:00～16:25	金属元素の安定同位体比分析手法の開発と資源・環境への応用 鉱物資源研究グループ 荒岡 大輔
16:25～16:50	地熱井掘削用のPDCビットの開発 地圏メカニクス研究グループ 宮崎 晋行
16:50～17:15	微生物の自然浄化能を活用した地圏環境汚染の修復 地圏環境リスク研究グループ 川辺 能成、吉川 美穂
17:15～17:20	閉会のあいさつ

参加お申込み方法

- 地圏資源環境研究部門のホームページ (<https://unit.aist.go.jp/georesenv/>) にアクセスしてください。(地圏資源で検索、または右記のQRコードからもアクセス可能です。)
- オンライン参加：要事前登録・対面参加と同じ参加申込サイトからご登録下さい。対面開催終了後、一部講演の録画動画をオンデマンド配信いたします。
- 参加お申込みは、密集回避のため定員150名までとさせていただきますので予めご了承ください。また定員超過後のお申込みの方には、お断りの連絡をさせていただきます。新型コロナウイルス等感染症の拡大状況によっては定員未達での参加受付の打切りや、対面開催そのものを中止する場合がございます。
- ジオ・スクーリングネット：対面でのご参加の方のみ、CPD(3.5単位)の取得が出来ます。
- お問い合わせ 〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1(第7事業所) 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地圏資源環境研究部門 研究成果報告会事務局
✉ M-gsj-symposium37-ml@aist.go.jp

